



令和5年度
福島小学校だより

ふくしま

第5号 1月19日
八女市立福島小学校
校長 郷田 純一

新年 明けまして おめでとうございます。 そして、愛校作業・レクスポ ありがとうございました。

令和6年が始まりました。干支である昇り竜のごとく、子どもたちが成長できたかと思っております。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年は元旦から能登半島にて大地震があり、新年初日の放送集会において犠牲になられた皆様への哀悼の意を表すとともに、私たちもいつ災害に遭ってもおかしくないという意識を持って生活することが大切だという話をしました。さらには、各ご家庭で保護者の皆様と「もし地震等の災害が来たらどうしようか」という話もできたらいねという話もしています。また、多くの子どもたち、教職員は元気に生活することはできていますが、まだまだインフルエンザやコロナに罹患する子どもたちや教職員もいます。暖冬とはいえ、少しずつ寒さも厳しくなっているようですので、この状況はしばらく続くかもしれません。学校では、手洗い・うがい等の基本的な感染対策は継続していきたいと思っています。

さらには、先週土曜日には寒い中、愛校作業までしていただきありがとうございました。教職員も子どもたちも快適に学校生活が送れます。また、レクスポでは、皆様との楽しい一時を過ごすことができました。お仕事等でお疲れの中にご参加いただきありがとうございました。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

学校運営協議会と教育委員会訪問を受けて

10月25日に学校運営協議会がありました。学校運営協議会では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくための話し合いが行われています。協議会には、行政区長さんの代表の方、PTAの代表、ボランティアの方々など7名に福島小学校の3名を加えて10名で構成しています。今回も貴重な励ましの言葉をいただくことができました。一部ご紹介いたします。

- ・「わかる」感動を与える授業をこれからもお願いします。
- ・子どもたちの挨拶がとてよくなりました。大人の方ができていないときがあるので、私も積極的に挨拶していきます。
- ・他の小中学校に比べると、ボランティアへの理解・協力はNO.1だと思っております。感謝です。

また、教育委員会訪問においては、橋本教育長はじめ4名の教育委員さん、服部総務係長さんに来ていただき、授業参観と学校経営等に関する協議がなされました。いただいた励ましの言葉を一部紹介します。

- ・子どもたちが落ち着いて学習しています。さらなる学力向上をめざし、授業改善をお願いします。
- ・ベテランの先生も若い先生も、皆さん笑顔で、はつらつと授業しています。うれしい限りです。今後、学校経営への参画意識をさらに高めて福島小学校を盛り上げてほしいです。

ほんの一部をご紹介しましたが、励ましの言葉をいただきき気の引き締まる思いです。地域の皆様、教育委員会の皆様のお声を生かし、さらに向上してまいります。

校舎の外壁工事が2月末で完了予定です！

長期間に及んだ外壁工事も最終盤を迎えています。1月末で足場が撤去され、その後2月に各種検査が行われる予定となっております。そのため、すべての検査が終わるまでは校舎の周りにコーンを置いて立ち入れないようにしたいと思っております。足場が取れ、2月に入れば校舎の全体像が見えると思います。職員も楽しみにしているところです。